

学年：2年	単元名：16. 分数 一分けた大きさのあらわし方をしらべよう
-------	-----------------------------------

1. 単元目標：(全5時間)

○ $1/2$ や $1/3$ などの簡単な分数について知り、数とその表現に着目し、分けた大きさの表し方を考える力を養うとともに、具体物や図などを用いて数学的に表現・処理した過程を振り返り、そのよさに気付き今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・分割分数の概念をつくる。

- ・等分の表し方を考える。
- ・分数の比較をする方法を考える。

知・技・具体的操作を通して $1/2$ や $1/3$ などの簡単な分数について知る。

- ・いくつかに等分した大きさの1つ分をつくることができる。
- ・大きさを分数を使って表すことができる。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

○具体物を半分にする活動

- ・半分の大きさを $1/2$ という。→ここから分割分数の概念をつくる。

○具体物を半分の半分にする活動

- ・半分の半分の大きさを $1/4$ という。→ここから分割分数の概念をつくる。

○ $1/2$ と $1/4$ からきまりを見つけさせ

- ・半分の半分の半分
- ・半分の半分の半分の半分・・・ を考えることができるようにする。

○分割分数

- ・もとの長さとか大きさが違うと分数の大きさも変わる。
- ・「等分すること」を重視する。
- ・具体物の操作を重視する。
- ・量分数としては、取り扱わない。全体は、「もとの大きさ」「もとの長さ」「1と考える量」
- ・「1と考える量」という表現が、活用範囲が広がる。

○単位分数と「倍」の関係を考える。

- ・基準が変わることを見つけさせたい。
- ・「もとにする量」が変わると、言い方や、数が変わる。

○知識として

- ・分数のかき方・読み方・(分母・分子)

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

- 分割分数を考えること。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

- 分数と整数のちがいを考えることのできる子ども。
- 生活の中に活きている分数を見つけ、それを活用できる子ども。
- 分数のよさや面白さを感じ得る子ども。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○半分とは、何かを知って、いろいろな「半分」をつくろう。（P80/81/82）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>（導入）P80 等分という考え方をおさえる。</p> <p>1. 問題把握 T:今日から「分数」の勉強を始めます。ここでは、分数とはどんなものかということがわかればいいと思います。 T:では、分数とは、何ですか？誰か説明できますか？→C:・・・ T:では、分数について知っていることはありませんか？ C:1/2とか1/3とか。半分とか。 T:よく知ってますね。では、今日は、まず、「半分」とは何かということを知って、いろいろな半分をつくりましょう。 T:では、ここに正方形の紙があります。これの半分をつくります。 ※わざと、ずらして、つくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標 ・本時の課題
<p>2. 自力解決・学びあい T:これでいいですか？→C:だめ！ T:どうしたらいいですか。 C:同じ大きさに2つに分ける。大きさがちがったらだめ。 T:なるほど。半分というのは、同じ大きさに2つに分けることですね。きちんとかさなるということですね。 ※P82②を示し、半分かどうかたずねる。 ※また、「りんご模型」とか分割の教具があれば、それで再度説明する。 T:では、いろいろな形を半分に分けましょう。 ※用紙を配布 正方形（大・小）・長方形（大・小）・円・直角二等辺三角形（大・小） 正三角形 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「半分」の意味をはっきりさせる。（等分） ・同じ用紙でもおり方が変われば半分も変わる。 ・紙は、折る。切らない。
<p>3. まとめ・ふりかえり T:いろいろな形の「半分」ができました。 同じ半分でもいろいろな形がありますね。 それと、始めの大きさがちがえば、同じ半分でも大きさが異なりますね。 T:今日は、「半分」について、勉強しました。 「半分」とは、何かということ自分の言葉でまとめましょう。 まとめ ○半分とは、同じように2つに分けること。 ○同じ半分でもいろいろな形がある。 ○始めの大きさがちがえば、半分もちがう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「半分」についてまとめる。 ・半分とは、同じ大きさに2つに分けること。

※導入で「りんご模型」や実物の「みかん」などを使って、2つに分けて見せてもよい。うまく等分をおさえることができる。
 等分に分けない。→Cから「あかん」とか「いんちきや」とかが出てくるとよい。

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○半分の半分とは、何かを知って、いろいろな「半分の半分」をつくろう。（P83/84）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:前の時間、勉強した「半分」のことを「$1/2$」といいます。 かき方は、こうかきます。そして、二分の一とよみます。 「$1/2$」のようなのを分数といいます。 T:では、今日は、「半分の半分」をつくります。 ※用紙を配布（前時と同じもの） 正方形・長方形・円・直角二等辺三角形・正三角形 など ※切らないで、折る。 ※切りたい希望が出れば、認める。 （間違えないように印をつけるとか色を変えておく。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意味・かき方・読み方 用語「分数」 (分母・分子) ・本時の課題
<p>2. 自力解決・学びあい ※できないものもある。（正三角形） ※できたものについて T:できましたか。間違いないですか。 となりの人と比べて、あっているか確かめましょう。 T:みな同じ大きさですか。まちがいないですね。 T:では、「半分の半分」は、何と言ったらいいでしょう。 C:$1/4$ T:どうして? →C:4 つに分けているから。4 つに分けた 1 つ分だから</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分割分数
<p>3. まとめ・ふりかえり T:では、分数についてまとめます。 ・半分=$1/2$ 半分の半分=$1/4$ ・かき方 かく順序 ・読み方：二分の一 四分の一 ・$1/2$=同じ大きさに 2 つに分けた 1 つ分 $1/4$=同じ大きさに 4 つに分けた 1 つ分 ・同じ半分の半分でもいろいろな形がある。 ・始めの大きさがちがえば、半分の半分もちがう。 ・できない図形もある。 ※P84③④⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分母、分子という用語を教えてもいいと思う。

ここで、 $1/2$ $1/4$ の意味をしっかりおさえておくと、次時が、うまく流れる。

1 ←—分けた 1 つ分

—

2 ←— 等しく 2 つに分ける。同じように 2 つに分ける。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇分数の使い方を知ろう。（P85）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:8このクッキーを2人で同じように分けます。1人分は、何こでしょう。→C:4こ T:そうですね。同じ数ずつ分けるときに分数を使います。 絵でかくとこうですね。○○○○ ○○○○ こんな時、「1人分は、8この1/2で、4こです。」という言い方をします。 では、4人で同じように分けるとなんというでしょう。 C:1人分は、8この1/4で2こです。」 T:そういうことです。 では、12こを分けてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •わり算は、学習していないので注意。 •トランプ配りで分けてもよい。
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>12こ 1人分</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2人に分ける ②3人に分ける ③4人に分ける ④6人に分ける。 </div> <p>※言い方をはっきりさせる。「12この1/2で6こです。」・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> •各自WB
<p>3. まとめ・ふりかえり T:分数の使い方がわかりましたか。 ほかもいろいろなつかいかたができそうですね。</p>	

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○分数と倍の関係を考えよう。（P86/87）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:今日は、分数と倍の関係を考えます。WS①を見ましょう。 ①をもとにすると、②は何分のいくつですか。→C:1/3 T:では、②をもとにすると、①は、何ですか。→C:3倍 T:どうしてでしょう？わけを考えましょう。</p>	<p>・WS①配布</p>
<p>2. 自力解決・学びあい C:②は、もとの長さを3つにわけているから1/3 ①は、②の3つ分だから3倍 T:そうですね。では、矢印で書き込みましょう。 ↓1/3 ↑3倍 T:「い、う、え、お」についてもかきこみましょう。 T:これで、分数と倍の関係がわかりましたね。</p>	<p>・指名 ・こたえあわせ</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり T:では、P86/87をします。 いっしょに読んで問題をやっていきましょう。 T:では、今日のまとめをします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>もとにする量(1と考える量)がかわると同じものでも言い方が変わる。 もとにする量(1と考える量)が何かを見つけることが大切。</p> </div>	

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○算数の目（P88）